

2025 年度 学校関係者評価報告書

松本歯科大学衛生学院

松本歯科大学衛生学院
2024 年度 学校関係者評価報告書

松本歯科大学衛生学院学校関係者評価委員会は、2024 年度の自己点検・評価結果を基に、学校関係者評価を実施しました。その結果を以下のとおり報告いたします。

2025 年 5 月
松本歯科大学衛生学院
学校関係者評価委員会

1. 目的

松本歯科大学衛生学院は、教育活動その他学校運営の状況を把握し、自己評価結果及び改善方策等を考察するため、学校関係者評価を実施する。

2. 評価対象期間

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

3. 評価の方法

松本歯科大学衛生学院の 2024 年度自己評価結果について、次の観点で評価を行った。

- ① 評価内容は適切か
- ② 学校の実際の取り組みは適切か
- ③ 評価結果を踏まえた課題や改善方策は適切か
- ④ その他、学校の運営に関する助言

4. 学校関係者評価委員会

○学外委員（評価委員）

- ・樋口大輔 関連業界関係者
- ・西窪結香 卒業生

○学内委員（事務局）

- ・金銅英二 学院長・教務主任
- ・新村和久 衛生学院事務室長
- ・宮嶋秀明 衛生学院事務室

5. 基準項目ごとの学校関係者の評価・意見

評価項目	学校関係者評価委員の評価・意見
教育理念・目標	・歯科衛生士の養成にあたり、教育理念・目標が的確に設定されている。 ・育成人材像がディプロマポリシーとして定められており、専門分野の特性が明確になっている。 ・超高齢社会の課題を踏まえた教育方針が反映されている。 ・全国的に歯科衛生士が不足している状況の中で、高齢社会における歯科衛生士の業務のさらなる展開が期待されており、歯科衛生士の需要が高まっている。これらの社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いている。
学校運営	・教育目標を達成するための運営方針、事業計画がしっかり策定されている。 ・コンプライアンス体制はしっかり整備されており、教育活動に関する情報の公開も適切に行われている。
教育活動	・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準が明確に示されている。 ・外部委員の意見も踏まえて、教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等の策定が適切に行われている。 ・シラバスに科目毎の学習到達目標や授業の実施回数が明確に記載されており、学生に配布、またホームページ上でも公開されている。 ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準が明確化されている。 ・教員の資質向上を図るための取り組みが十分なされている。
学修成果	・国家試験の合格率は常に高水準であり、特段の問題は認められない。 ・退学率の低減を図るため、個別指導や個別相談等の支援が実施されている。 ・国家試験特別補習の実施など、歯科衛生士の資格取得率向上のための取り組みがなされている。 ・退学率の低減を図るため、個別指導や個別相談が実施されているが、定員数の増加に伴い、さらにきめ細かい対応をしていく必要がある。
学生支援	・就職希望者における就職率は100%であり、特段の課題は認められない。 ・進路調査、就職ガイダンス、求人情報の公開等、進路・就職支援体制が整備されている。 ・保健室、図書館、体育施設、学生食堂、学生寮等は松本歯科大学の施設を共用できる環境にあり、とても良好である。
教育環境	・教室等には個別の冷暖房設備がないため、環境整備の充実が望まれる。 ・規定に則り、教室・実習室の数や広さはしっかり確保されている。 ・換気設備や冷暖房設備等の教室内の環境整備、また実習室のユニット台数の確保および古いユニット台の入れ替えについて、検討していただきたい。

学生の受け入れ募集	・ 高校訪問、学校個別見学、企業主催の進学相談会、学校案内の印刷物の配布等を積極的に行っている。 ・ 年数回の一日体験入学に加え、随時の見学体制も整備されている。 ・ 歯科衛生士の業務内容や資格取得までの流れや、国家試験結果、就職状況等の情報提供がしっかり行われている。
財務	・ 財務情報はホームページ上で公開されており問題はない。
法令遵守	・ 関連する法令を遵守し、適正に管理運営されている。 ・ 自己点検・評価は毎年行われており、現況の把握と問題点の改善に努めている。また結果についてはホームページ上で公開されており、問題はない。
社会貢献・地域貢献	・ 「歯科衛生士復職支援セミナー」を受託・開催し、社会・地域貢献に資する取組が行われた。

以上

【全体を通しての意見】

- ・ 定員増加により、様々な負担が増加することが予想されます。質の高い学生の確保、専任教員の補充、環境整備など一層の対策をお願いしたい。